

年男・年女放談①

プログラム委員会担当

年男放談

松井 章悟 会員



大正9年の不景気の時に、我が家は知人から頼まれて連帯保証人になり、知人が事業に失敗したため全ての責任を負うことになりました。そして、全ての財産を売り払って返済をし、新城から無一文で豊橋へ移りました。その時父は19歳だったそうです。父は少しばかり残った地下足袋と農家の庭先に転がっていたものを拾い集め、修理をして安く提供していました。これが評判を呼び、行商が順調に軌道に乗ったため、何とか生計を立てられたそうです。この時、昭和5年、これが松井商事の創業となりました。昭和20年の豊橋が空襲を受ける1ヶ月前に、静岡県へ工場の設備と資材の引っ越しをすることができました。疎開先で上の兄と妹が亡くなり、父と姉が肺結核にかかりました。当時の肺結核はほとんど治らなかったそうですが、奇跡的に特効薬ができたおかげで、何とか助かったそうです。昭和39年4月に私は大学卒業と同時に松井商事株式会社へ入社しました。昭和45年に父が亡くなり、その年に社長に就任しました。昭和63年に本社を大國町から問屋町へ移転し、靴卸業を営んでいました。この頃はバブル崩壊が起り、激動の時代でした。平成7年に阪神・淡路大震災が発生し、当時は神戸のメーカーとの取引が多かったため、この業態をこのまま続けて良いのかとよく考えました。そして、平成11年に主力だったメーカーの販売権を返上し、大変な時期に卸売りから小売りに事業の転換を図りました。この時は財務バランスが崩れ、借入金が大きくなり、売り掛けのリスクが上がったため、主力商品を返上しました。平成22年にインターネットによる販売を始め、そのまま卸売業を続けていれば大変な事態になっていましたが、その時々で柔軟に変化していくおかげで、債務を完済することができました。

年女放談

松岡 真由美 会員



私は豊橋RCに入会して今年で19年になりますが、一番思い出に残っていることは昨年の最終例会でバンドのボーカルを務めさせていただいたことです。お忙しい皆さんですが6ヶ月間に13回も練習を行いました。こんな経験をさせていただいたのも、多才な方が集まるロータリークラブならではだと思います。あの一夜限りのバンドが終わり、私は

今もバンドロスを引きずっています。

「女は三界に家無し」という、幼い頃は親の言うことを聞いて育ち、結婚したら夫に従い、老いては子どもに従わなければならないという意味の言葉があります。これは「女の人は自分で住むところを選べない」という意味だと思います。私も豊橋で生まれ、この歳になるまで他の土地を知らずに生きてきました。しかし、転機は突然やってきました。私には双子の娘と息子がいます。姉は一浪の末、大阪の南部にある狭山市で大学生活を始めました。また、弟も二浪の末に姉と同じ大学へ入学したため、私は2人が住む大阪を訪ねるようになりました。狭山市は学校と病院の他に何も無いところですが、車で少し走ると仁徳天皇陵があります。仁徳天皇陵がある堺市には、堺で生まれた千利休と与謝野晶子の名前から名付けられた「さかい利晶の杜」という記念館もあります。

「女は三界に家無し」と言いますが、自分では住むところを選べなかったとしても、豊橋にいたら行くことのない場所や見ることもなったものを楽しむことができるのは2人の子ども達のおかげだと思います。好奇心を持ってあちこち見て回っています。

已年の今年は、心身共に生まれ変わるチャンスのある年だそうです。健康に心掛け、愛と感謝の心を持って、この節目の年を生きていきたいと思います。

年男放談

富田 佳央 会員

豊橋出身の昭和28年生まれにはどのような方がいるかご紹介いたします。芸能関係では私と時習館で同級生だった平田満さんと、松平健さん。政治関係では、豊橋市の前々市長である佐原光一さん。金融関係では現在蒲郡信用金庫の会長を務められている竹田知史さん。医療関係は札木にある飯塚耳鼻科の飯塚直樹院長。

ロータリーに入会して3回目の年男放談です。1回目は、ケニア旅行の話をしました。実はこの旅行は、ロータリーの50周年の記念式典に重なってしまい、ちょうど開会式の時間に、私は気球に乗ってアフリカの草原を漂っていました。放談とは言え、今思うとよくこんな話をしたものだと思います。それから20年後のロータリー70周年。どういう訳か私が実行委員長を仰せつかりました。ロータリーはとんでもない人間でも元気でいれば活躍する場所を与えてもらえるので、皆さま元気でいてください。2回目はマラソンの話でした。ちょうどホノルルマラソンを走った後くらいで、次の目標は

ニューヨークマラソンというお話をしました。世界6大マラソンのうち、残すはボストンマラソンのみという状況でしたが、コロナの影響で断念しました。3回目の今回は何を話そうか考えていましたが、最近は「東海道五十三次御宿場印」を集めています。本日55個のうち54個目を巡り、残すは京都のみとなりました。他に行っているのが、月に2回のピアノのレッスンです。素敵な女性ともう一度出会えた時に演奏したいと考えていますが、未だにその機会は訪れていません。



富田佳央会員による弾き語り「もしもピアノが弾けたなら」

会長挨拶

紅林 友昭 会長

阪神・淡路大震災から1月17日でちょうど30年です。豊橋の震度は3だったようですが、大分長い揺れでした。地震から5か月後の6月上旬に、私は家内と西宮の叔父を訪ねました。叔父はタクシーで、西宮から始まり、芦屋から神戸三ノ宮を回って真っ黒になった火災の跡や傾斜したままの建物など、とにかく地震の爪痕の残るところを時間をかけて見せて回ってくれました。5か月経っても凄まじい光景でした。この時から私の地震に強い建物への探求が始まりました。

地震に備えた建築は大きく分けて「耐震構造」「制振構造」「免震構造」の3つがあります。耐震、制振は低層の建物には有効ですが、高層の建物になるほど横揺れが発生します。しかし、免震構造は高層部分になんでも免震システムが地震エネルギーを吸収するので、昨今では高層の建物の地震対策として主流になってきています。

免震構造の難点は、基礎部分に作る免震システムにコストが掛かってしまうことです。しかし、もし地震が来ても免震システムが働けば、テーブルの端の方に置いたガラスのコップは、恐らく落ちることはないと思います。弊社の戸建賃貸住宅で免震構造を採用したのは5棟のみです。免震システムのコストを家賃に反映させてしまうと高額になってしまいます。しかし、弊社はこういう変わった建物も扱っている会社ですよという「広告塔」としており、お客様には「安心安全な物件」として人気があり、空室になることはほとんどありません。これが私が実践している職業奉仕のひとつです。

会長報告

ございません。

幹事報告

青木 良浩 幹事

1. ロータリーマガジンが届いています。

ニコニコBOX

日野 恵里加 ニコニコ委員

- 松井章悟会員、富田佳央会員、松岡真由美会員、本日の年男・年女放談を楽しみにしています
紅林 友昭 会長 青木 良浩 幹事
- 年男放談をさせていただきます
松井 章悟 会員
- 本日年女放談で発表させていただきます
松岡 真由美 会員
- 年男放談、よろしくお願いします
富田 佳央 会員
- 年男・年女放談の皆さん、楽しみにしています。富ちゃんのかくし芸にも期待しています
宮田 正人 牧野 渉 各会員
- 先週のフォーラムにて発表をさせていただきました
中村 典司 深見 博士 柳原 茂 小笠原 貴洋 池田 勝年 各会員
- 先週のフォーラムでファシリテーターを務めさせていただきました
伊藤 恭三 金子 幸義 各会員
- 浜松の天竜にある、秋野不矩美術館で、秋野不矩さんと私の伯母 高畠郁子の二人展が開催されています。チラシを各テーブルに置かせていただきました。是非お出かけください。招待券をさしあげます
松坂 良太 会員
- (順不同)

お誕生日おめでとうございます

福井 敬 会員 (2月4日)

河合 珠美 会員 (2月4日)

歌

ソングリーダー 佐藤 裕彦 会員

「たきび」

出席報告

長濱 貴彦 出席委員長

当日出席者	65名	計算会員数	92名中27名欠席
総会員数	110名	出席率	70.65%

例会予定

次回のプログラム

2月6日(木) 年男放談②

- 2月13日(木) インターアクト卒業生を送る会
- 2月20日(木) 卓話「国内でできるロータリークラブ国際奉仕活動」
- 2月27日(木) クラブ・フォーラム「国際奉仕」(夜間)

写真の閲覧はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

